

## 交通死亡事故ゼロ300日達成



決意を新たにす倉光市長と山本会長

市は7月11日をもって交通死亡事故皆無300日を達成しました。

この日、表彰伝達式が行われ、県警察増田岳樹交通部長が、市交通安全対策協議会(会長・倉光市長)に感謝状、市交通安全母の会連合会(山本薫会長)に表彰状を伝達。

増田交通部長は「コロナ禍に縮小していた交通部の活動を以前の水準まで戻し、交通事故を防いでいきたい」と意気込みを語りました。

倉光市長は「警察官の指導・協力のもとにあつての受賞。若い世代を中心に広く市民に交通安全活動を見せていければ」、山本会長は「高齢化による会員数の減少が課題。それでも地域の交通安全のために根気強く活動していきたい」と決意を新たにしました。

## オールイングリッシュキャンプに挑戦

国際化に対応し、夢や志を実現できる人材を育成するため、「Enjoy! English Camp at つがる地球村2025」が7月24日から1泊2日の日程で行われ、市内の小中学生28人が参加しました。

活動中は日本語を使わず、すべて英語でのコミュニケーションがルール。生徒たちは、うまく話せない時にはジェスチャーを交えるなどして、一生懸命に伝えようとしていました。

グループごとに分かれた生徒たちは、外国語指導助手(ALT)と一緒にクイズやゲームに挑戦したり、新任ALTのハリ・フカワさんに市の魅力を紹介したりして、英語での表現力を磨きました。

柏中2年の山下はなさんは「積極的に英語で会話し、他校の生徒と楽しく活動することができた。将来はいろいろな国に行き、異国の文化を学びたい」と話しました。



市の魅力を紹介する資料を作成する児童生徒たち

## 子ども食堂で食育と異文化交流



特製カレーのおいしさに笑顔があふれる参加者

社会福祉法人柏友会が、子どもたちの食育の推進や子育て世帯の支援、多世代の交流を目的に「子ども食堂」を開催しました。

この日は、柏小学校の3年生から6年生まで約60人が参加。初めに食育についての話聞いた後、柏友会のミャンマー出身スタッフと一緒にミャンマー語を学ぶなど、異文化交流も行いました。続いてスイカ割りも行われ、子どもたちは大盛り上がり。最後は、本市産の食材を使った特製カレーを全員で味わいました。

柏友会の成田和代さんは「子どもたちがおいしかったと言ってくれてうれしい。今後も機会があれば続けたい」と話していました。

6年生の小関仁葉さんは「みんなで食べると、家で食べるよりおいしく感じた」と笑顔を見せました。

## 掘って、作って、味わって 親子で楽しむ食育活動

市では食育活動の一環として、「親子収穫体験&料理教室」を開催しました。

今回参加したのは市内の親子11組。稲垣沼館地区の三上晴子さんの畑で、大きく育ったジャガイモを子どもたちは手で一つ一つ丁寧に掘り起こしていきました。

その後、場所を松の館に移し、市食生活改善推進員の指導のもと、収穫したジャガイモを使ったポテトサラダづくりなどに挑戦。親子で協力しながら調理を楽しみました。

参加した向陽小学校6年の神葵葉さんは、「いつも暑い中、畑で収穫している人たちの苦労がよく分かった。自分で掘ったジャガイモは、今度フライドポテトにして食べたい」と笑顔で話しました。



7/29  
稲垣地区

ジャガイモを掘り起こす参加者

## いざ全国の舞台へ



8/8  
市役所

健闘を誓う筒木坂FCの関係者たち

7月19日・20日に開催された「第30回中泊ビーチサッカーフェスタ」で、市内を拠点とする筒木坂FCが見事優勝し、来年4月に沖縄県で開催される全国大会への出場権を獲得しました。

この日、選手ら3人が市役所を訪れ、大会の結果や今後の抱負について話しました。

チームの代表である三橋淳さんは「全国大会出場は今回で9度目。これまでの最高成績はベスト8なので、今回はベスト4以上を目指して頑張ります」、キャプテンの成田航大さんも「一戦一戦、全力で戦ってきます」と力強く意気込みを語りました。

倉光市長は「県代表として沖縄に行けるのは貴重なこと。市内外からの大きな期待がありますので、思い切り頑張ってください」と激励しました。

## つがるメロンマルシェ in 赤坂で大盛況

東京都港区の赤坂インターシティAir地下1階商業店舗モールで「つがるメロンマルシェin赤坂」を開催しました。

令和4年以来となる今回の販売会では、カップメロン(タカミ・レノン)やカップスイカ、玉売りメロンに加え、果房メロンとロマンの商品も一部販売しました。

この日、オフィスビル内での開催とあって、開始直後から多くの来場者が訪れ、予定よりも早い時間に完売するほどの盛況ぶり。1日目にカップメロンを購入した方が「とても甘くておいしかった」と、翌日には1玉を買い求める姿も見られました。

首都圏での販売を通じ、本市産メロンの魅力を広くPRできる貴重な機会となりました。



8/7・8  
東京都港区



首都圏の来場者に、本市産メロン・スイカのおいしさを紹介